

ベトナムの自動車販売動向



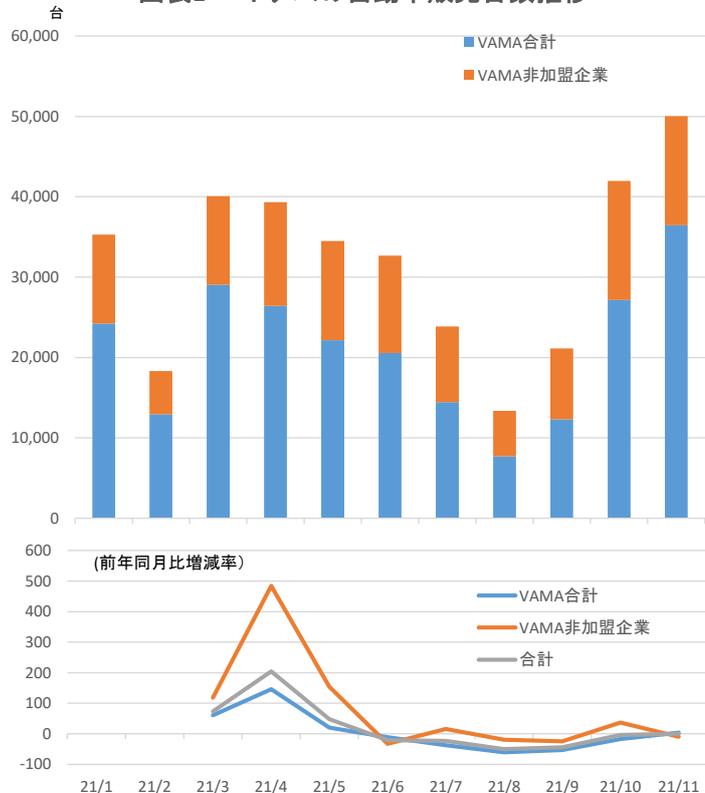
《回復が期待できる 2021年10-12月期のベトナム自動車販売》

VAMA（ベトナム自動車工業会）加盟企業と非加盟企業合計の2021年11月の新車販売台数は前年同月比と同水準の5.0万台だった。2021年8月の1.3万台をボトムにして、9月2.1万台、10月4.1万台、11月5.0万台と3ヵ月連続で前月を大きく上回り、持続的な需要回復が鮮明となっている。

5月以降の新車販売台数の不振はコロナウイルス感染症の感染拡大によって経済活動および社会活動に対して大幅な制限が課されたためだ。感染拡大は9月に一度収束し、活動制限が緩和され、経済活動が再開された。それに伴って新車販売台数も回復が始まっている。10月中旬からコロナウイルス感染症の感染者数が再び大きく増加しているが、ベトナム政府は感染拡大抑制よりも経済活動の継続を優先する姿勢をとっているため、自動車の販売状況も回復基調を維持できているようだ。ベトナム政府の姿勢の変化によって経済活動制限が実施される可能性が下がっているため、足元の回復基調は2022年中も維持される可能性が高まっており、ベトナムの2022年の自動車販売台数は前年比で大きく増加する可能性がある。

VAMA 非加盟企業には積極的な販売によりシェア拡大を続けている国産EVメーカーのビンファスト（ベトナム最大の企業グループであるビンググループの電動自動車製造部門）とヒュンダイ・タインコングループ（韓国の現代自動車とベトナムのタインコングループの合弁企業）が中心となっている。2021年3月以降の前年同月比増減率を比較すると（図表1）、VAMA 非加盟企業がVAMA 加盟企業を概ねアウトパフォームしていることがみてとれる。しかし、アウトパフォームの程度が次第に縮小傾向を示しており、これはVAMA 非加盟企業のシェアの拡大ペースが鈍っていることを示している。また、2021年1-11月累計のVAMA 加盟企業が販売した自動車のうち、国産車が前年同期比10%減、輸入車が同26%増だった。各種FTAの発効やベトナムドンがドルに対して若干強含みで推移しているため、輸入車の増加ペースが大きくなっている点にも注意が必要だろう。

図表1 ベトナムの自動車販売台数推移



注 前年同月比は月次データの遡求可能だった2021年3月以降となっている

出所 VETJOのデータをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20211229

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。株式は、価格変動リスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。